



なぜこども園に入れるのか？

不登校の子どもたちが、年々増えています。「学校の存在自体が時代に合っていないのではないか」という意見を言う人も出てきました。こども園（幼児施設）は、不登校と無縁ではありません。こども園は、学校に入る前に最も大事なことを学ぶところなのです。

《幼児教育のねらいは》

- ◎社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。
- ◎友だちと一緒に遊びや仕事を進める楽しさを知る。



◎友だちとのかかわりの中で言うてはいけないこと、してはいけないことがあることに気付く。

◎友達と楽しく生活する中でできまりの大切さに気付く。

同年齢の子どもたちが一緒に生活する中で、わがままな行動をおさえ、社会性を身に付けること（ルールを守ること）ができるようにするのが目的です。そのために、一緒に歌ったり、踊ったりします。しかし、「個性のない画一的な子どもを育てばいい」と言っているわけではありません。

「群」は「羊のむれ」から生まれた文字です。虎などの強い動物は単独行動ですが、弱い動物は群れ（集団）で互いに助け合って生活します。そこにはルールがあり、そのルールに従わずに単独行動をすると、強い肉食動物の餌食になってしまいます。地球上で最も弱い動物は、人間かもしれません。だからこそルールが細かく決められています。そのルールを学ぶためにこども園や学校があります。そのルールを教える第一責任者は親で、次に教員です。そのために私たちは毎日頑張っています。



【お知らせ】 こすもす組(3歳児)担当石川ひさみ先生がお辞めになります。

「子どもたちの笑顔を見ていると、元気が出るんです。子どもが大好きです。」といつも言っていました。健康面から12月29日が最後になりました。石川先生は、ネイティブスピーカーで「わくわくEnglish」を担当してもらうなど、貴重な存在でした。とても残念ですが、健康が第一です。「元気になったら、また戻ってきます」と言っています。 **Good-bye Take care Good luck**

2023年 ㊦年も残りわずかとなりました。ご理解とご協力に感謝申し上げます。

テレビでは、今年を振り返る番組が連日放送されていますが、今年は、暗いニュースもあった中で、大谷翔平選手の活躍が日本中を明るくしてくれました。

さて、コロナが2類から5類になって、コロナ前の生活に戻つつあります。こども園も、運動会、発表会は、制限なしに開催することができました。もちつき会が復活したり、地域との交流も行えるようになりました。



発表会では、涙を浮かべながら、お孫さんの舞台を見ているおばあちゃんがいま

した。スマホのカメラで、孫の姿を追いかけているおじいちゃんがいま。子どもたちの無邪気で真剣なまなこや笑顔に、家族の皆さんは感動されたことでしょう。私たち職員にとっても、子どもたちの成長した姿を見ることで、やりがいを感じます。

ところが、今年の夏は、気温37℃という日が2日続くなど、猛暑に見舞われ、こども園開園時には予想もつかない事態になり、暑さ対策としてエアコン設置が急務になりました。

また、コロナが収まったかと思いきや、様々な感染症が流行し、12月にはインフルエンザで休園になりました。改めて、こども園の使命は、子どもたちの命と健康、安全を守ることだと再認識しました。5類移行後も、検温をこまめに行い、少しでも異変を感じたら、すぐに連絡するようにしました。お仕事の最中にもかかわらず、お迎えに来ていただきました。保護者皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。これからも安全・安心を第一に、園運営をして参りますので、今後ともよろしくお願い致します。

12月30日から1月4日まで、年末年始休業です。お正月は、家族が集まり、楽しく談笑する家族団らんで過ごすのが、子どもたちにとってとても大事なことです。

それでは、**よい年をお迎えください。**

